



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)



2021年8月11日

上場会社名 リスクモンスター株式会社  
 コード番号 3768 URL <https://www.riskmonster.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 藤本 太一  
 (氏名) 吉田 麻紀  
 TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	838	7.7	135	3.5	149	13.1	95	10.9
2021年3月期第1四半期	778	4.8	130	25.9	131	3.8	86	7.8

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 57百万円 (89.0%) 2021年3月期第1四半期 30百万円 (72.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	12.87	
2021年3月期第1四半期	11.67	

(注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	6,318	5,353	83.1	704.18
2021年3月期	6,658	5,400	79.6	710.75

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 5,250百万円 2021年3月期 5,299百万円

(注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		28.00	28.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		14.50	14.50

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。2022年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

(参考) 株式分割を考慮しない場合の年間配当金 2022年3月期(予想) 29円00銭

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	0.0	655	0.0	675	0.3	430	0.5	57.46

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.12「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	7,546,922 株	2021年3月期	7,546,922 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	90,368 株	2021年3月期	90,368 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	7,456,554 株	2021年3月期1Q	7,413,122 株

(注)当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.7「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	10
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	10
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	11
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
3. 補足情報 .....	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、景気の持ち直しが期待されるものの、政府や自治体の各種政策による一部の経済活動自粛などが断続し、先行きは依然として不透明な状況で推移しており、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ2021年度から2025年度までの長期ビジョン「RismonG-30」、その達成に向けたマイルストーンである2021年4月にスタートした3ヶ年計画「第7次中期経営計画（2021～2023年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・株式会社テイタンとの業務提携を強化し、「裁判記録閲覧」（調査）サービスの連携開始（5月）
- ・反社会的勢力関連のコンプライアンスリスクの所在をヒートマップ形式で表示する「反社チェックヒートマップ（正式版）」を提供開始（5月）
- ・格付ロジック改定（6月）
- ・前連結会計年度から8円増配し、1株当たり28円の配当を実施（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
  - 「就職したい企業・業種ランキング」調査結果（4月）
  - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（4月）
  - 「仕事・会社に対する満足度」調査結果（5月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
  - 「飲食料品小売業」（4月）
  - 「ゴム製品製造業」（4月）
  - 「インターネット付随サービス業」（5月）
  - 「総合工事業」（6月）

<連結業績について>

当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
売上高（千円）	778,969	100.0	838,697	100.0	107.7
営業利益（千円）	130,414	16.7	135,034	16.1	103.5
経常利益（千円）	131,980	16.9	149,289	17.8	113.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益（千円）	86,512	11.1	95,977	11.4	110.9

	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
会員数合計（注）	13,409	13,977	568

（注）会員数は登録されているID数

なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部おります。

（売上高）

主力の与信管理サービス事業、ビジネスポータルサイト事業が好調であったこと、BPOサービス事業が順調に推移したこと等から、連結の売上高は838,697千円（前年同期比107.7%）となりました。

（利益）

売上高が増加したこと等により、営業利益は135,034千円（前年同期比103.5%）、経常利益は149,289千円（前年同期比113.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は95,977千円（前年同期比110.9%）となりました。

（会員数合計）

会員数は13,977会員と順調に増加いたしました。

<セグメント別の業績について>

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

当社グループのセグメントを、1. 法人会員向けビジネスと2. その他ビジネスに分類した場合の業績は、以下のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

1. 法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア) 与信管理サービス事業、イ) ビジネスポータルサイト事業及び ウ) 教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
法人会員向けビジネス売上高合計（千円）	684,588	750,182	109.6
法人会員向けビジネス利益合計（千円）	150,938	160,052	106.0

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
法人会員向けビジネス会員数合計	12,767	13,430	663

法人会員向けビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

ア) 与信管理サービス事業について

与信管理サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス（千円）	394,044	439,584	111.6
ポータルサービス及び マーケティングサービス（千円）	61,141	71,203	116.5
その他（千円）	16,281	28,031	172.2
コンサルティングサービス売上高合計（千円）	77,423	99,235	128.2
売上高合計（千円）	471,467	538,820	114.3
セグメント利益（千円）	72,033	81,707	113.4

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス（注）	6,534	6,870	336

（注） サービス相互提携を行う会員を含む

当第1四半期連結累計期間の与信管理サービス事業の売上高の合計は538,820千円（前年同期比114.3%）、セグメント利益は81,707千円（前年同期比113.4%）となりました。

利益率の高いASP・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が好調だったことに伴い、439,584千円（前年同期比111.6%）となりました。

コンサルティングサービスは、前期に引き続き、オプションサービスの反社チェックサービスが好調で、また、取引先信用情報管理の短期間モニタリングサービス等の受注があったため、99,235千円（前年同期比128.2%）となりました。

セグメント利益につきましても、前年同期を上回りました。

イ) ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 （%）
ASP・クラウドサービス（千円）	125,659	140,517	111.8
その他（千円）	8,569	8,725	101.8
売上高合計（千円）	134,228	149,242	111.2
セグメント利益（千円）	42,820	61,056	142.6

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）	3,179 (142,796)	3,175 (143,593)	△4 (797)

（注）（ ）は外数でユーザー数

当第1四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）の売上高の合計は149,242千円（前年同期比111.2%）、セグメント利益は61,056千円（前年同期比142.6%）となりました。

顧客の在宅勤務の増加等により、ディスク容量の超過料やオプションサービスの利用料が好調に推移したため、売上高は前年同期を大きく上回りました。

セグメント利益につきましては、利益率の高いサービスの売上高が好調だったことに伴い、前年同期を大きく上回りました。

ウ) 教育関連事業について

教育関連の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
教育関連売上高合計（千円）	78,892	62,120	78.7
セグメント利益（千円）	36,084	17,288	47.9

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
教育関連	3,054	3,385	331

当第1四半期連結累計期間の教育関連事業の売上高は62,120千円（前年同期比78.7%）、セグメント利益は17,288千円（前年同期比47.9%）となりました。

定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v .」の会員数が3,385会員に増加し定額の利用料が積み上がったものの、前年同期に新型コロナウイルスの影響で増加したeラーニングサービスの利用が例年並みとなり、売上高は前年同期を下回りました。

セグメント利益につきましては、売上高の減少及びサービス提供強化による人件費等が増加したため、前年同期を下回りました。

2. その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、エ) BPOサービス事業及び オ) その他サービスであります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、547会員となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計（千円）	138,899	151,324	108.9
その他ビジネス損益合計（千円）（△は損失）	1,610	△2,781	—

その他ビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

エ) BPOサービス事業について

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
BPOサービス売上高合計（千円）	101,023	109,479	108.4
セグメント利益（千円）	5	5,540	—

当第1四半期連結累計期間のBPOサービス事業の売上高は109,479千円（前年同期比108.4%）、セグメント利益は5,540千円（前年同期はセグメント利益5千円）となりました。

コールセンターのインバウンド業務が堅調に推移し、反社チェックサービス等のスポット案件を受注したため、売上高が順調に推移し、それに伴い、セグメント利益も前年同期を大きく上回りました。

オ) その他サービスについて

その他サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計（千円）	37,875	41,845	110.5
セグメント損益（千円）（△は損失）	1,604	△8,322	—

当第1四半期連結累計期間のその他サービスの売上高は41,845千円（前年同期比110.5%）、セグメント損失は8,322千円（前年同期はセグメント利益1,604千円）となりました。

グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）は、中国における信用調査レポート等が順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

セグメント損益につきましては、サービス提供強化のための人件費増加等により、セグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

		前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額
	流動資産（千円）	3,083,079	2,781,354	△301,724
	固定資産（千円）	3,575,328	3,536,711	△38,617
資産合計（千円）		6,658,407	6,318,065	△340,341
	流動負債（千円）	819,955	527,431	△292,523
	固定負債（千円）	438,285	437,056	△1,229
負債合計（千円）		1,258,240	964,487	△293,752
純資産（千円）		5,400,167	5,353,578	△46,588
負債純資産合計（千円）		6,658,407	6,318,065	△340,341

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ301,724千円減少し、2,781,354千円となりました。これは主に、税金や配当金の支払い等により現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ38,617千円減少し、3,536,711千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等によるものです。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ340,341千円減少し、6,318,065千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ292,523千円減少し527,431千円となりました。これは主に、未払金及び未払法人税等が減少したことによるものです。固定負債は1,229千円減少し437,056千円となりました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ293,752千円減少し、964,487千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末と比べ46,588千円減少し、5,353,578千円となりました。また、自己資本比率は83.1%となりました。



（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響については、2022年3月期中には、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種率が高まり、緩やかに回復していくことを前提にしております。また、当社グループの売上の8割以上が法人会員向けビジネスとなっており、下振れリスクが比較的低いことを前提に考えております。これらを踏まえ、当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高3,550百万円（前連結会計年度比100.0%）、営業利益655百万円（前連結会計年度比100.0%）、経常利益675百万円（前連結会計年度比100.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益430百万円（前連結会計年度比100.5%）と予想しております。

業績予想に対する当第1四半期連結累計期間の進捗につきましては、売上高、利益ともにほぼ当初の予定どおり進捗しており、現時点におきましては、連結業績予想の変更はございませんが、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年3月期予想	3,550	655	675	430
2021年3月期実績	3,551	654	672	427
前連結会計年度比（%）	100.0	100.0	100.3	100.5

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,544,953	2,246,122
受取手形及び売掛金	463,561	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	447,934
原材料及び貯蔵品	16,668	15,394
その他	58,634	72,553
貸倒引当金	△739	△650
流動資産合計	3,083,079	2,781,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	567,591	567,606
減価償却累計額	△133,956	△138,753
建物及び構築物（純額）	433,634	428,853
工具、器具及び備品	383,306	384,533
減価償却累計額	△287,320	△295,617
工具、器具及び備品（純額）	95,985	88,916
土地	568,352	568,352
リース資産	4,713	4,713
減価償却累計額	△1,243	△1,440
リース資産（純額）	3,469	3,273
有形固定資産合計	1,101,442	1,089,395
無形固定資産		
ソフトウェア	738,381	761,825
その他	110,895	126,370
無形固定資産合計	849,277	888,196
投資その他の資産		
投資有価証券	1,545,086	1,491,442
その他	79,661	67,859
貸倒引当金	△140	△184
投資その他の資産合計	1,624,607	1,559,118
固定資産合計	3,575,328	3,536,711
資産合計	6,658,407	6,318,065

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	398,166	258,899
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	197,236	20,988
賞与引当金	716	345
その他	163,675	187,038
流動負債合計	819,955	527,431
固定負債		
長期借入金	155,480	147,940
退職給付に係る負債	2,940	3,035
その他の引当金	14,492	14,483
その他	265,372	271,596
固定負債合計	438,285	437,056
負債合計	1,258,240	964,487
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	785,621	785,621
利益剰余金	2,653,063	2,644,649
自己株式	△63,264	△63,264
株主資本合計	4,531,414	4,523,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	753,795	712,736
為替換算調整勘定	14,533	15,037
その他の包括利益累計額合計	768,329	727,774
非支配株主持分	100,423	102,803
純資産合計	5,400,167	5,353,578
負債純資産合計	6,658,407	6,318,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	778,969	838,697
売上原価	354,405	386,993
売上総利益	424,563	451,704
販売費及び一般管理費	294,149	316,670
営業利益	130,414	135,034
営業外収益		
受取利息	109	198
受取配当金	5,436	8,910
投資事業組合運用益	—	6,637
その他	357	358
営業外収益合計	5,903	16,104
営業外費用		
支払利息	723	568
投資事業組合運用損	3,374	—
為替差損	238	522
コミットメントフィー	—	757
営業外費用合計	4,336	1,849
経常利益	131,980	149,289
特別損失		
固定資産除却損	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純利益	131,963	149,289
法人税、住民税及び事業税	29,548	17,899
法人税等調整額	12,721	33,313
法人税等合計	42,270	51,213
四半期純利益	89,693	98,076
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,180	2,098
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,512	95,977

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
四半期純利益	89,693	98,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,984	△40,936
為替換算調整勘定	△129	663
その他の包括利益合計	△59,113	△40,273
四半期包括利益	30,579	57,802
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,368	55,422
非支配株主に係る四半期包括利益	3,210	2,380

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイ ト（グルー プウェアサ ービス等）	教育関連						
売上高									
外部顧客への売上高	470,777	133,675	76,167	88,645	769,265	9,703	778,969	—	778,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	690	553	2,725	12,377	16,346	28,172	44,518	△44,518	—
計	471,467	134,228	78,892	101,023	785,611	37,875	823,487	△44,518	778,969
セグメント利益	72,033	42,820	36,084	5	150,944	1,604	152,548	△22,134	130,414

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイ ト（グルー プウェアサ ービス等）	教育関連						
売上高									
ASP・クラウド サービス	438,698	139,935	—	—	578,633	—	578,633	—	578,633
コンサルティング サービス	97,930	—	—	—	97,930	—	97,930	—	97,930
その他	—	8,665	58,874	83,734	151,273	10,860	162,133	—	162,133
顧客との契約から生じ る収益	536,628	148,600	58,874	83,734	827,837	10,860	838,697	—	838,697
外部顧客への売上高	536,628	148,600	58,874	83,734	827,837	10,860	838,697	—	838,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,191	642	3,246	25,745	31,825	30,985	62,810	△62,810	—
計	538,820	149,242	62,120	109,479	859,662	41,845	901,507	△62,810	838,697
セグメント利益又は損失 (△)	81,707	61,056	17,288	5,540	165,592	△8,322	157,270	△22,236	135,034

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの変更）

前連結会計年度から、従来「その他」に含まれていた「教育関連事業」について、量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

（会計方針の変更）

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの売上高及び利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。当該変更による売上高及びセグメント利益又は損失に与える影響はありません。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	125,754	△71,587
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△107,371	△119,843
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△79,894	△110,124
現金及び現金同等物に係る換算差額	△348	2,723
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△61,860	△298,831
現金及び現金同等物の期首残高	1,967,596	2,443,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,905,735	2,144,898

前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 131,963 減価償却費 82,999 法人税等の支払額 △68,377 ※2 無形固定資産の取得による支出 △111,456 ※3 配当金の支払額 △72,171	主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 149,289 減価償却費 94,564 未払金の減少額 △140,113 法人税等の支払額 △184,924 ※2 無形固定資産の取得による支出 △117,712 ※3 配当金の支払額 △101,714